

# 花だより

第109号 春季刊



題字／須崎志津子様  
(大正8年生まれ 高松の家)  
2023年(令和5年)5月18日発行

## 2023(令和5)年度 事業方針について

### 1. 恵比寿会ならではのサービスを 目指して

ご利用者に「恵比寿会のサービスを  
を選んで良かった!」と思っ  
ていただき、恵比寿会のファン  
になっていただけるようなサー  
ビスを目指します。


2023年1月に羽衣地域福  
祉サービスセンターで新型コロナ  
ウイルス感染症が発生しまし  
た。スタッフがご利用者宅に一  
軒一軒状況確認の連絡をしたと  
ころ「羽衣センターを信頼して  
いるから利用するよ。」「再開を  
待っているよ。」等、励ましのお  
言葉をたくさんいただきました。  
地域から愛される事業所として、  
これほど嬉しい事はありません。

スタッフのこれまでのサービス  
が評価されているからこそその支  
援の声です。事業は人なりです。  
より一層、恵比寿会ならではの  
サービスを目指してまいります。

### 2. 止めてはならない、ICT化 による業務改善

限りある労働人口の中で、ス  
タッフの生産性をどのように上  
げていくかの検討も必要です。  
ICT化を再構築し、事業を  
進めていく必要があります。新  
しいことに挑戦するには勇気が  
必要ですが、取り組みを止めず  
前に進めていくことが、今問わ  
れています。

スタッフの業務軽減、ご利用  
者の安全の確保と満足の向上を  
目的とし、ICTの導入を推進し  
てまいります。

発行 社会福祉法人 恵比寿会  
フェローホームズ 

- 仲間の家・森の家・高松の家  
フェローホームズデイサービスセンター  
フェローホームズヘルプサービス  
グループホーム・ヴィラ・フェローホームズ  
フェローホームズアフタースクール  
森の子ナーサリー(企業主導型保育園)  
042-523-7601
- フェローホームズ富士見相談センター  
042-526-1353
- 羽衣地域福祉サービスセンター  
フェローホームズ羽衣相談センター  
立川市南部東はごろも地域包括支援センター  
042-523-5612
- 森の子こども園  
042-538-0729
- しばさきのいえ子育てひろば  
042-512-7704
- 立川市柏第四学童保育所  
042-537-8555
- 立川市高松第三学童保育所  
042-512-9703
- 立川市砂川七番学童保育所  
042-537-7550
- 立川市柴崎第二学童保育所  
042-512-8202

### 3. ムリ・ムダの見直し、 SDGsにもつながる

日頃の各事業、各部署で、エ  
ネルギー(電気)や資源の無駄  
使いをなくしてまいります。

地球に限りある資源の枯渇は、  
他人事ではなく、将来を見据え  
た、私たち全員の課題です。物  
価高の問題は介護業界や保育業  
界だけの問題ではありません。  
社会全体が同じ課題に取り組み  
なければなりません。私たちに  
できることはなにか、何ができ  
るのか、どうすればよいのかを  
考え、取り組んでまいります。

### 最後に

人は誰もが不安や悩みを持つ  
て生活しています。その不安や  
悩みを聴くこと、少しでも解決  
できるよう支援すること、不安  
や悩みで痛む心を和ませること  
ができるのが私たちの社会福祉

の事業です。  
一人ひとりの立場に寄り添い、  
相手の身になっての傾聴から、  
社会に求めているものを想像し、  
恵比寿会が必要とされる事業所  
として成長し発展することが、  
ご利用者や地域社会のためにな  
り、さらにスタッフのためにも  
還元される力となると信じて事  
業を進めていきます。

2023年4月1日  
理事長 森山善弘

### ウッドデザイン賞2022受賞!

柴崎第二学童保育所がウッドデ  
ザイン賞2022を受賞しました。  
一般社団法人日本ウッドデザイン  
協会主催の懸賞制度で、木を使う  
ことにより、社会課題の解決を  
目指す活動を、「ウッドデザイ  
ン」と定義しています。

SDGsやカーボンニュート  
ラルへの取組が必須となってい  
る今、森林や木材の活用がク  
ローズアップされています。木  
を活かして、新たな時代の価値  
をデザインする「ウッドデザイ  
ン賞」は、木の良さや価値を、  
デザインの力で再構築すること  
を目的として、優れた建築・空  
間や製品、活動や仕組み、研究  
等を募集・評価し、  
表彰するものです。  
柴崎第二学童保育  
所は2021年7  
月に開設し、現在  
は約30名が入所  
しています。



ホームページはこちら



Facebookもチェック



## 新しい出会い&スタートの春！ 新卒スタッフのご紹介

- Q1・私のプチ自慢
- Q2・入職の動機
- Q3・こんなスタッフになりたい！

高橋真生子さん（介護スタッフ）



- Q1 5人きょうだいです！
- Q2 インターンシップで職場の人の温かさや、優しさが感じ取れたから。
- Q3 「高橋さんなら安心」と思っていただけのようなスタッフ、笑顔と明るさを届けられるスタッフになりたいです。

土屋友吾さん（介護スタッフ）



- Q1 魚をきれいに食べられること。
- Q2 学校の実習で、デイサービスの方々と関わる機会があり、その中でフェローホームズで働くことに興味を持ちました。
- Q3 周囲を楽しませ、自分も楽しむことができるスタッフ。また、一歩立ち止まって、振り返ることができるスタッフ。

小島美里さん（介護スタッフ）



- Q1 中学から高校までバスケットボール部のレギュラーとして活躍していました。
- Q2 祖母が訪問介護を利用していたことをきっかけに、介護職に就きたいと思いました。また、フェローホームズを見学した際、設備や研修制度などの支援活動が良いと感じました。
- Q3 ご利用者一人ひとりとコミュニケーションをとり、ご利用者を笑顔にできるスタッフになりたいです。

秋元愛結さん（事務スタッフ）



- Q1 少し手話が使えます。
- Q2 フェローホームズの介護スタッフとしてアルバイトしている中で、ご利用者だけでなく、現場で働くスタッフの方々も支えたいと思い、管理部への入職を希望しました。
- Q3 ご利用者やご家族、そしてフェローホームズで働くスタッフの方々に信頼していただけるように頑張ります。

### 昇格辞令発布式

4月3日に新たにリーダーに昇格した渡邊壮輝（森の家4階西ユニット）、浅見恵美（森の家及びショートステイ生活相談員）、グエントウイリン（仲間の家2階東グループ）、計3名の昇格辞令発布式を行いました。



左から森山理事長、渡邊、グエン、浅見  
エンさんはベトナム出身のスタッフで、外国人スタッフ初のリーダーとなりました。

### 防火管理者表彰状受賞

管理部の山木好二が長年施設の防火管理者として、適切に業務の推進に努めたとして、東京消防庁より表彰されました。防火管理者とは消防法で定められた国家資格で、施設の消防計画の作成や消防計画に基づく消防訓練、火器管理、消防設備の適切な維持を行っています。引き続きスタッフ一人ひとりが防火管理を意識し、ご利用者が安心して過ごせるよう努めます。



表彰状を授けられる山木好二さん  
が安心して過ごせるよう努めます。

## 皆さんのご要望に お応えします！ 介護予防教室

立川市南部東はごろも

地域旬「括支援センター」

地域の高齢者向けに様々な「介護予防教室」を開催しています。

2022年度に開催した内容のいくつかをここでご紹介いたします。

### 指先を華やかに！ネイル体験

反響が大きかったため急遽定員を増やし、開催数も増やしました。福祉ネイリストさんの実習先として、予防教室



マニキュアの色も自分で選びます。

の場を提  
供したも  
のです。  
初めて  
ネイルを  
される方  
も多く

にきれいにしてもらって嬉しい」「これを見せるために友達と会う」など、喜びの声を多くいただきました。また、後日ご家族の方から「母があらんなに喜んでいるのを久しぶ

りに見られて嬉しかった」とお電話をいただいたことも印象深かったです。



終わったあと皆さんで見せ合い、話が弾んでいました。

### 聞こえる生活を考える

加齢に伴ってだんだんと「聞こえ」に変化が出てきます。聞こえない、聞こえにくいことから閉じこもり気味になる方もいます。

補聴器や集音器の違い、聞こえ方の体験、言葉の聞き取りチェックなども行いました。申し込みの段階から反響が大きくなり、すぐに定員に達したほどでした。



### 人生の棚おろし

～エンディングノート活用法～

羽衣地域福祉サービスタウンで11月におこなった羽衣センター祭りで、「人生の棚おろし」という表題でエンディングノートの記入体験を

行いました。「実際に書いてみると思ったより難しくなかった」「人生の振り返りができた」というような感想をいただきました。当日はあいにくの雨でしたが、たくさんの方の足を運んでいただき、スタッフ一同感動しました。



スタッフが講師をしました

### スマホの使い方教室

社会交流の回復や、必要な情報が得られるようになることを主な目的として、スマホ活用講座を継続して開催しています。

「スマホの基本とLINE体験」「Zoomに挑戦」「アプリで健康生活」など、実用的な内容と、レベル別、目的別に応じた指導が好評です。受講生は講座で学んだことを実生活でも活用されている様子で、講座で知り合った方々でオンライングループを作ったり、スマホでお得な情報をつかんだりしているようです。講座中も「これはどうすれば

いいの？」「画像を送りたいのよ」「あ、できた！できた！」と賑やかです。

今回ご紹介したもの以外にも様々な内容で介護予防に取り組んでいます。「ラジオ体操」



貸し出しスマホがずらり

「低栄養予防」「健口(口腔生活)」「睡眠」「爪のケア」「施設選び」「資産運用」「ハンドケア」「終活」「靴選び」「吹矢」「交通安全」「消費者被害防止」「ベジチェック」⑧「漢方」等々。

この記事を読まれた皆様、「こんな教室を開催してほしい」などの要望や「私はこれが得意だからみんなに教えたい！」などのご提案、「こういうのも介護予防？」といった疑問などがありましたら、ぜひ、はごろも包括にご一報ください！皆さんのアイディアお待ちしています。



スタッフ手作りのチラシ。

全国高齢者ケア研究会で紹介した事例報告を紹介いたします。

## 「食べる楽しみ」を取り戻す

### フェローホームズ森の家

お食事を提供後、食べ始める事なく周囲の様子を眺めたり、食べることに集中できない方（85歳・女性）に対して、食事環境と食べ物を認知することへの働きかけを見直したことで、ご自身の力でお食事を召し上がる量が増えた方の方のケアの報告です。

### ◆課題

お食事の提供後もすぐに食べ始めることなく、30分以上周りや他のご利用者の食事の様子を眺めていることがあり、食事を促しても複数のおかずを混ぜる、食べ物が入ったお皿を重ねる、おしぼりを汁物やお茶に入れるなどの行為が見られました。また時折、お茶が入ったコップを持ち、テーブルにこぼすこともあり

ました。一方、食事を食べ始めると、15分から20分ほどの時間でご自身の力で召し上がることができました。

### ◆要因分析

- ①認知機能の低下から食事が提供されたことや、食事の時間になったことが認識できず、食事をするという動作に及ばないのではないか。
- ②食前にウトウトする様子から、しっかりと覚醒できていないのではないか。
- ③食事が半粥、舌や歯茎でつぶせるように柔らかくした形状のものであることから、食べ物であると認識しにくいのではないか。



通常のお食事



柔らかくしたお食事

(4)加齢にともない、味覚の減退がおこっているのではないか。

(5)食事が視野内にしっかりと入っていないのではないか。

### ◆行った対応

- ①おかずの内容を伝え、一口目のみ介助にて召し上がっていただき、食事の認識を促しました。また、ご自宅で使用していた、使い慣れた茶碗や箸等の食器をご家族にお持ちいただき、使用しました。
- ②唾液の分泌を促し、食欲を促すために耳下腺を刺激する唾液腺マッサージを行いました。



- ③味覚の減退について、血中の亜鉛や貧血の数値は基準値内であることから、加齢による味覚の減退の可能性は低いと考えました。

### ◆対応の結果

〈①、③について〉  
一口目を介助したのは、食事だと認識されたようで、ご

自身で食べ始めるようになりました。

### 〈②について〉

マッサージを行ったことでの目立った効果は見られませんでした。

### ◆その後さらに行った対応

- ①口腔内を清潔に保つため、また、体を覚醒させることを目的として、食前にも口腔ケアを行いました。
- ②食事前の覚醒状態をよくするため、他のご利用者と共にパタカラ体操という口の体操や、体を動かす運動を行いました。
- ③お食事の配膳後、同じテーブルのご利用者と一緒に「いただきます」の掛け声と、手を合わせる動作を行っていただき、食事の間であることを認識していただきました。

④やや上体を後ろに反らせた



姿勢で食事を召し上がる傾向があり、若干食べこぼしもあったことから、ご本人の身体に合った椅子に変更し、テーブルと身体の距離が近くなるようにしました。

⑤ご自身で召し上がる方と同じテーブルになるよう、食事席の変更を行いました。

◆結果

①、②について

動作の促しを行うも、目立った効果は見られませんでした。

③、⑤について

「いただきます」をすると、すぐにご自身で食器を持ち、食べ始めるようになりました。食事に集中でき、食事を混ぜる行為やおしぼりを食事の中に入れてしまうといった行為はほとんど見られなくなりました。

④について

ご本人の身体に合った座面の奥行・高さの椅子に変更したところ、上半身が反ることもなく、食べこぼしも減少しました。

◆まとめ

食べ物を認知する段階での働きかけや、食事を召し上げる環境づくりを行うことで、短期間のうちに目にみえて効果がみられました。

また、生活を共にする他のご利用者の皆様と、日常から交流を持っていただき、生活の中に「楽しい食事の時間」があることを認識していただくことができました。

今後も、「食べる楽しみ」をもっと感じていただけるように心地いい生活を支援していきたいと思えます。



森の家の食事風景

ボランティアさんありがとう

知久良夫様（車椅子清掃）

清谷善子様（椅子ヨガ）

出倉光一様（壁画）



出倉様が2022年夏より取り組んでくださった中庭の壁画が完成しました。アフタークールに通う子ども達も制作に加わり、色塗りや手形アートを楽しんでいました。明るい色使いの壁画で、中庭を明るい雰囲気にしてくれる素敵な作品となりました。

佐藤民江様（紙芝居）  
佐藤純一様（紙芝居）



デイサービスセンターではコロナ禍で中止していたボランティアの受入を再開しました。久しぶりの紙芝居ボランティアでは、優しい音調のピアノの伴奏と、明るい話し手の語りにより、ご利用者の皆様も楽しいひと時を過ごされていました。



# 日常生活の中で 無理なくリハビリ

## 機能訓練チーム

フェローホームズで取り組んでいる生活リハビリをご紹介します。

「リハビリ」という言葉を聞くと、病院で行われているリハビリのイメージが強いと思いますが、フェローホームズでは、普段の生活行動のすべてが身体機能を維持するための場面と捉え、立つ時間や歩く距離をほんの少し伸ばしたり、ご本人の力が発揮しやすい環境を整えたりすることで、ご利用者の自立支援をサポートしています

今回は、その中でも下肢筋力（股関節から、つま先までの筋力）の維持・改善につなげる取り組みをご紹介します。ケアの中で、ご利用者にはお食事時に車椅子から椅子に座り替えていただいています。座り替えの際に足の裏全体で踏ん張ることを日常生活の中でくり返し、下肢筋力の維持・向上を図っています。



車椅子から椅子へ座り替えている様子

普段の生活の中で取り組むには少し難しいところを、機能訓練チームが積極的にサポートしています。

また、立つ姿勢が不安定なご利用者、数歩なら歩行ができるご利用者には、歩行訓練を行っています。

「立てた!」「歩けた!」と、ご自身の力を発揮された時の笑顔に、スタッフはやりがいと癒しをいただいております。



「生活リハビリ」の最大の目的は、できる限りご利用者の身体機能が良好な状態で生活できるように、下肢筋力を維持・改善して、※1 費用を予防することです。骨盤を立てて座る姿勢の耐久性をつけたり、足裏を床に付けて、足の※2 拘縮の予防を図ったり、足裏を刺激して、体の覚醒を行うなど、あらゆる機能の改善に取り組んでいます。

生活の中で、少しでもご自身の力でできることを維持したり、増やしたりできるように、これからもサポートしてまいります。

※1 費用…使用しないことで機能低下をおこすこと

※2 拘縮…関節が動きにくくなること

※2 拘縮…関節が動きにくくなること

## ご利用者作品

# 羽衣デイ



石射保様



長井昌子様



高橋和子様



平手美佐子様



井手昌子様



井手義人様

## 春爛漫！お散歩日和

### 羽衣地域福祉サービスセンター

暖かな日差しの中、羽衣地域福祉サービスセンターの隣にある公園へお花見に行きました。ご利用者の皆さんがとても楽しそうな笑顔で散策されていたことが印象的でした。「こうやって出かけられるのは本当にありがたい。」という嬉しいお声も聞こえてきました。



今年はお外出企画を再開し、楽しい行事を企画していきます。どうぞ楽しみにしてください。



### フェローホームズ

#### デイサービスセンター

フェローホームズデイサービスセンターもお花見を行いました。

とちのき（認知症対応型通所介護）のお花見は、車から降りて散策するのは実に3年ぶり！参加された皆さんも土を踏みしめ、桜や菜の花の春の香りを十分に感じて楽しむことができました。外に出て日差しを浴びると、自然と皆さんの表情も笑顔が多くなります。

今年のフェローホームズデイサービスセンターは「笑顔で生き生きと生活できる」事を目標として掲げています。その一環として、以前よりたくさんご利用者からニーズのあった、食事や買い物、近隣の外出企画を定着させ、皆さんの笑顔が溢れるデイサービスの運営をしていきます。



### フェローホームズ仲間の家

仲間の家では、お天気が良い日は、ご利用者を外気浴にお誘いし、お庭や施設の周りをお散歩しています。

花壇で咲いている色とりどりのお花をご覧になり、「きれいなね」と笑顔があふれます。咲いているお花も綺麗でしたが、お散歩中のお話しながら咲くご利用者の方々の笑顔もとても素敵だなあと感じるひと時でした。



## ご寄付を有難うございました

2022年10月～2023年3月(順不同)

勝又真理様 中村保彦様

栗原節子様

(株)福祉会計サービスセンター様  
社会福祉法人恵比寿会後援会様

## 恵比寿会後援会だより

2022年10月～2023年3月に会費を頂いた方をご報告します。(順不同)

本間清光様 小高政子様

堀野一雄様 堀野直美様

加々美裕子様 (有)久寿屋花門様

伊藤産業(有)様

### 後援会会員募集中

「ひとつは全てのために、全てはひとつのために」の理念のもと、法人が運営する各事業を側面から支援、協力して下さる会員を募集しております。入会をご希望される方はお電話にてお問合せください。

☎ 042-523-7601



# 森の子こども園

MORINOKO KODOMOEN

森の子こども園がスタートし、1年が経ちました。本園は、モンテッソーリ教育、自然体験保育、食育活動の3本柱を軸に、英語教室や年長児の小学校就学に向けたカリキュラムなども取り入れた教育保育に取り組んでおります。2023年度も一層の質の高い教育保育活動が提供できるように取り組んでまいります。

モンテッソーリ教育法の開発者であるマリア・モンテッソーリは、「0〜6歳の間は、その後の長い人生を生きていくのに必要な力の80%が備わる人生において一番大切な時期である。」と言いました。森の子こども園は、その大切な時期の園児たちの主体性を育み、社会の中で生きていく素地が培われるように援助してまいります。

4月7日の入園式は、可愛らしい園児たちとご家族の皆様のご参加のもと、華やかな式となりました。緊張と期待で胸いっぱい



期待と緊張で胸いっぱいの入園式

HPはこちら



張の面持ちのお子さんも、先生からお名前を呼ばれると「はい！」と元気な笑顔を見せてくれました。そして、こども園で一番お兄さん、お姉さんになった新年長児より、歌のプレゼントがありました。輝く表情で立派に歌う姿に、年長さんのやる気と意気込みが伝わってきました。

2023年度は、進級児93名に新入園児28名を加え、121名でスタートしました。園児たちは新年度を迎え、緊張と期待で胸をいっぱいにしています。園児たちが安心して生活を送ることができるよう、職員一同、園児たちを見守りながら、教育保育活動に取り組んでまいります。(文責：園長今村好子)

## 森の子ナーサリー

MORINOKO NURSERY

森の子ナーサリーは社会福祉法人恵比寿会が運営する企業主導型保育園です。2018年3月に開設し、現在6年目を迎えました。地域の方々に森の子ナーサリーの存在を認識していただけるようになり、一時保育のご利用や地域の方の枠での入園が増えてきました。小規模ならではの良さを生かし、お子さま一人ひとりの欲求を満たせるよう丁寧な保育を心掛けています。施設内で働く保護者の方がお子さまの遊ぶ様子を別階から見かけお声をかけてくださることもあります。企業主導型保育園として保護者の方が安心してお子さまを預けていただけるよう努めてまいります。(文責：ナーサリー保育責任者荒木絵美)

HPはこちら



卒園証書授与の様子

## しばさきのいえ 子育てひろば

「かごめかごめ」「となりのぼたん」等の役割交代の鬼ごっこ等を幼児期や小学生の時に経験された方もいらっしやるでしょう。子ども達はわらべ歌で遊びながら音楽や身体能力、ルール、仲間関係等、様々な要素を身につける事ができます。

しばさきのいえ子育てひろばは乳児期の親子のご利用者が多いので、布やお手玉を使ったり、体を揺らしたりしながら、音楽の基本である拍を大切に伝えていきます。自由におもちゃで遊ぶ子ども達は、ふと一番身近な家族の声に心を落ち着かせ、体を揺らしながら、私達大人に「笑顔」という素晴らしいプレゼントをしてくれます。(文責：子育てひろば指導員市川恵子(保育士))

HPはこちら



小さな子が大好きな布はわらべ歌遊びで活躍する道具の一つです。